

令和2年(2020年)6月 青果部 主要品目の市況

種類	品名	市況の概要	2020年6月 数量 (トン)	2020年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	人参	千葉県産中心の入荷でした。作柄が悪く、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	329	186	78%	139%
2	キャベツ	千葉県(銚子)産、茨城県産、東京都産、神奈川県産中心の入荷でした。順調な出荷により、入荷量はかなり増加しました。平均単価は高く推移しました。	1,245	94	136%	117%
3	野菜 トマト	北海道産中心に、終盤から熊本県産、宮崎県産、佐賀県産が出始めましたが、入荷量は前年並みよりやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	485	281	97%	110%
4	レタス	長野県産中心の入荷でした。前進出荷の影響により、入荷量は大幅に増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	551	137	155%	102%
5	たまねぎ	天候不順の影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	569	100	90%	127%
6	西瓜	前半のハウスものの数量は伸び悩みましたが、後半のトンネルものはますますの着果量となり、入荷量はやや増加しました。平均単価は高く推移しました。	447	268	103%	112%
7	果実 アンデス	茨城県産中心の入荷でした。生協などの宅配向けが好調に推移し、入荷量はかなり増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	74	466	125%	110%
8	桜桃	前年が大不作だったため、入荷量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	39	2,064	120%	97%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+)-0~2%
- ②やや増加(減少):(+) 3~10%
- ③増加(減少):(+) 11~20%
- ④かなり増加(減少):(+) 21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+) 51%以上